

[004]鷹・鷹場・環境研究

<https://hdl.handle.net/2324/2560392>

出版情報：鷹・鷹場・環境研究. 4, 2020-03-20. Faculty of Art and Science, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

鷹・鷹場・環境研究会

2019 年度活動記録

<研究会メンバー>

○代表

福田千鶴 九州大学基幹教育院教授

○研究分担者

武井弘一 (副代表) 琉球大学国際地域創造学部
准教授

東 幸代 滋賀県立大学人間文化学部教授

伊藤昭弘 佐賀大学地域学歴史文化研究センター
准教授

岩淵令治 学習院女子大学国際文化交流学部
教授

江藤彰彦 久留米大学経済学部特任教授

大賀郁夫 宮崎公立大学人文学部教授

大坪 舞 佐世保工業高等専門学校講師

籠橋俊光 東北大学大学院文学研究科准教授

兼平賢治 東海大学文学部准教授

相馬拓也 京都大学野生動物研究センター
特定准教授

中澤克昭 上智大学文学部教授

東 昇 京都府立大学文学部准教授

久井貴世 北海学園大学人文学部客員研究員

藤實久美子 国文学研究資料館アーカイブズ系
教授

堀田幸義 宮城教育大学教育学部准教授

水野裕史 筑波大学芸術系助教

森田喜久男 淑徳大学人文学部教授

安田章人 九州大学基幹教育院准教授

渡部浩二 新潟県立歴史博物館専門研究員

○研究協力者

榎森 進 東北学院大学名誉教授

来見田博基 鳥取県立博物館主任学芸員

中野渡一耕 青森県県民生活文化課

県史編さんグループ総括主幹

山崎久登 東京都立砂川高等学校教諭

越坂裕太 九州大学人文科学府博士後期課程(日
本学術振興会特別研究員 DC1)

丸山大輝 九州大学人文科学府修士課程

<研究会・調査等の開催>

第5回研究会

日時:2019年8月23日(金)~25日(日)

[調査]



8月23日(金)

・佐渡市内田園地帯・トキの森田園公園等において
フィールドワーク

案内:久井貴世

[研究会・検討会]

8月24日(土)

場所:やまき両津ホテル内会議室(朝日の間)

参加者 19名

プログラム

・伊予大洲藩主の狩、御鷹野場と生業

東 昇(京都府立大学文学部)

・越後村上藩主松平直矩の鷹・鷹狩と動物

渡部浩二(新潟県立歴史博物館)



・盛岡藩の巢鷹捕獲について—三戸町小笠原家文書「巢鷹御用覚帳」の分析から—

中野渡一耕(青森県県民生活文化課県史編さんグループ)

8月25日(日)

プログラム

・鷹場領主と御救

—幕末期の横井家鷹場を事例に—

山崎久登(東京都立砂川高等学校)

・検討会

今後の研究会の進め方について

○第二次モンゴル調査

日時:2020年2月7日(金)～17日(月)

[参加者]

相馬拓也 京都大学野生動物研究センター
特定准教授

[協力者]

稲田喬晃 動物写真家

○米国(シアトル・ボストン)調査(COVID-19のため延期となりました。)

日時:2020年3月17日(火)～26日(木)

[参加者]

福田千鶴 九州大学基幹教育院教授
藤實久美子 国文学研究資料館教授

[場所]

ワシントン大学東アジア図書館、ハーバード大学エンチン図書館、Museum of Fine Art, Boston

[協力者]

マクヴェイ山田久仁子, Librarian for the Japanese Collection, Harvard-Yenching Library

田中あずさ, ワシントン大学東アジア図書館日本研究専門司書

鈴木紗江子, ブリティッシュコロンビア大学アジア研究学科博士課程後期

<講演会・学会報告等>

○2019年5月11日(土)

盛岡市西部公民館主催:盛岡の歴史入門講座

場所:盛岡市西部公民館

兼平賢治(東海大学)「馬と鷹からみた盛岡藩の歴史—天下人と将軍が求めた南部馬・鷹—」

○2019年5月11日(土)

戦国史研究会第475回例会

場所:駒沢大学

水野裕史「戦国期鷹図の贈答をめぐる文化構造」

○2019年6月16日(日)

鳥取県史資料編近世6・ブックレット20刊行記念講演会『「因府歴年大雑集」と岡島正義」での個別報告「因府歴年大雑集を読む」(15分)

場所:鳥取県立博物館 講堂

○2019年6月16日(日)

東京都埋蔵文化財センター主催、企画展示「ひと×いきもの」関連 文化財講演会

場所:東京都埋蔵文化財センター

岩淵令治「江戸の小売酒」

○2019年10月9日(水)

北上市主催:北上市民大学ゼミナール地元学部第4回講座

場所:北上市生涯学習センター

兼平賢治(東海大学)「江戸時代の南部馬と仙台馬の歴史—歴代の徳川将軍が購入し続けた南部馬と仙台馬—」

○2019年10月13日(日)

北上市立博物館主催:特別展「北上川舟運と海—つなぐ、広がる、時代を越えて—」関連講演

場所:北上市立博物館

兼平賢治(東海大学)「『雑書』にみる盛岡藩の自然環境とその利用—海の恵み、川辺のにぎわい—」

○2019年10月26日(土)

秦野市主催:秦野市・東海大学提携事業「令和元年度市民大学」

場所:秦野市立図書館

兼平賢治(東海大学)「天下人と馬・鷹—徳川将軍が求めた南部馬・鷹—」

○2019年11月23日(土)

芦東山記念館主催:秋季特別展「ふるさとの山—今も昔も行ってみたい—」特別講演会

場所:一関市芦東山記念館

兼平賢治(東海大学)「家老席日記『雑書』にみる盛岡藩の自然と動物」

○2019年11月23日(土)~24日(日)

第25回「野生生物と社会」学会大会

場所:金沢星稜大学

久井貴世「『歴史鳥類学』から探る江戸時代のツルの生息実態と人との関わり」(若手奨励賞受賞記念講演)、「江戸時代に利用されたツルの種とは?:鷹狩、贈答、食用、飼育の事例」(ポスター発表)

○2019年11月30日(土)

盛岡市西部公民館主催:近世・近代史講座第3回

場所:盛岡市西部公民館

兼平賢治(東海大学)「藩政時代の経済活動—山・川・海の資源活用—」

月、126-128頁)

○久井貴世「古文書の『丹頂』からタンチョウを探る:『歴史鳥類学』から解明する江戸時代のツルの歴史」(上田恵介編『遺伝子から解き明かす「鳥」の不思議な世界』一色出版、2019年11月、213-234頁)

○水野裕史「豊臣秀吉「大鷹野」と鷹狩図屏風」(『鹿島美術財団年報』36号、2019年11月、236-245頁)

○相馬拓也「若手研究が描く「ヒトと動物の関係学の未来と展望」(『ヒトと動物の関係学会誌』54号、2019年12月、10-12頁)

○水野裕史「日本美術に現れた鳥獣表象—鷹を中心に—」(『ヒトと動物の関係学会誌』54号、2019年12月、22-29頁)

○久井貴世「歴史資料から探る江戸時代のツルと人との関わり」(『ヒトと動物の関係学会誌』54号、2019年12月、30-34頁)

○伊藤昭弘『青年藩主 鍋島直正—天保期の佐賀藩』(海鳥社、2020年3月)

○NEWS LETTER『鷹・鷹場・環境 NEWS』No.7~9(HP上で公開)

○『鷹・鷹場・環境研究』vol.4(2020年3月)

○ホームページの更新

<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~hhe-kaken/>

<刊行物等>

○山崎久登「将軍鷹野御成と江戸町方」(都市史学会編集・発行『都市史研究』6号、山川出版社、2019年10月、1-15頁)

○大坪 舞「近世後期公家蔵書にみる学知の形成—立命館大学図書館西園寺文庫蔵西園寺賞季旧蔵書を手がかりとして—」(『平安文学研究・衣笠編』8輯、2019年10月、100-113頁)

○福田千鶴「九月十六日付加藤主計頭留守居宛豊臣秀吉朱印状について」(『織豊期研究』2019年10

